



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月6日

上場会社名 世紀東急工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1898 URL <https://www.seikitokyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 川野 隆紀

TEL 03-6770-4020

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日

2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	39,634	5.4	993	303.4	1,007	308.9	861	847.1
2023年3月期第2四半期	41,892	8.4	246	86.0	246	85.8	90	92.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 916百万円 (482.3%) 2023年3月期第2四半期 157百万円 (87.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	23.62	
2023年3月期第2四半期	2.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	74,085	39,512	53.3	1,083.46
2023年3月期	78,762	39,660	50.4	1,088.13

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 39,512百万円 2023年3月期 39,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		45.00		30.00	30.00
2024年3月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,300	1.0	4,920	84.3	4,820	82.1	3,250	188.4	89.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	37,424,507 株	2023年3月期	37,424,507 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	955,571 株	2023年3月期	976,478 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	36,456,984 株	2023年3月期2Q	36,885,280 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は2023年11月30日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 2024年3月期の個別業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	0.4	4,400	83.3	3,030	194.8	83.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	8
四半期個別受注の概況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類へ移行したことにより、経済社会活動の正常化が一段と進み、緩やかな回復基調となりました。一方で、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の減速懸念などから先行き不透明な状況が続きました。

道路建設業界におきましては、建設投資は総じて底堅く推移したものの、原材料や燃料価格が依然として高値圏で推移するなど、予断を許さない事業環境となりました。

このような情勢のもと、当社グループでは、『2030年のあるべき姿』を示す長期ビジョンおよび計画最終年度となる「中期経営計画(2021-2023年度)」に基づき、本業のさらなる競争力強化による安定収益の拡大に努めるとともに、将来のどのような環境変化にも対応できる「真に強靱な企業グループへ」と進化を遂げるべく、各種施策を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高(製品売上高および売電事業等売上高を含む)は49,693百万円(前年同期比15.9%増)、売上高は39,634百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

損益面につきましては、原材料価格高騰の影響を大きく受け厳しい結果となった前年との比較では改善し、経常利益は1,007百万円(前年同期比308.9%増)となり、また、特別利益として債務取崩益を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は861百万円(前年同期比847.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較し4,677百万円減少の74,085百万円となりました。売上債権が減少したことなどにより流動資産は5,250百万円の減少となり、一方、アスファルト合材工場の設備更新等による有形固定資産の増加などにより固定資産は573百万円の増加となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較し4,529百万円減少の34,572百万円となりました。仕入債務が減少したことなどにより流動負債は4,252百万円の減少となり、また、退職給付に係る負債の減少などにより固定負債は276百万円の減少となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益861百万円を計上しましたが、期末配当金の支払などにより、前連結会計年度末と比較し147百万円減少の39,512百万円となりました。この結果、自己資本比率は53.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間におきましては、税金等調整前四半期純利益1,238百万円を計上したことに加え、売上債権の回収が進み、完成工事未収入金や売掛金が減少したことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは10,868百万円の資金増加(前年同期は5,475百万円の資金増加)となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間におきましては、アスファルト合材工場の設備更新や事業所の建替えに伴う支出などにより、投資活動によるキャッシュ・フローは2,082百万円の資金減少(前年同期は2,909百万円の資金減少)となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間におきましては、期末配当金の支払などにより、財務活動によるキャッシュ・フローは1,043百万円の資金減少(前年同期は1,874百万円の資金減少)となりました。

以上に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額を調整した結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ7,756百万円増加し、15,929百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月9日公表時から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	8,173	15,929
受取手形・完成工事未収入金等	38,829	26,010
未成工事支出金	228	211
材料貯蔵品	331	345
その他	2,430	2,249
貸倒引当金	-	△4
流動資産合計	49,992	44,741
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	11,857	11,761
機械、運搬具及び工具器具備品	22,117	22,568
土地	14,897	14,897
建設仮勘定	878	1,875
減価償却累計額	△23,000	△23,620
有形固定資産合計	26,750	27,482
無形固定資産	239	270
投資その他の資産		
その他	1,779	1,591
投資その他の資産合計	1,779	1,591
固定資産合計	28,769	29,343
資産合計	78,762	74,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	23,262	20,203
短期借入金	106	203
未払法人税等	214	312
未成工事受入金	1,570	1,108
完成工事補償引当金	40	44
工事損失引当金	4	26
賞与引当金	1,655	1,672
その他	4,311	3,342
流動負債合計	31,164	26,912
固定負債		
長期借入金	6,800	6,750
退職給付に係る負債	1,049	822
その他	87	87
固定負債合計	7,936	7,660
負債合計	39,101	34,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	500	512
利益剰余金	37,810	37,577
自己株式	△803	△786
株主資本合計	39,506	39,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	71
為替換算調整勘定	△20	△36
退職給付に係る調整累計額	139	173
その他の包括利益累計額合計	153	208
純資産合計	39,660	39,512
負債純資産合計	78,762	74,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	41,892	39,634
売上原価	38,559	35,650
売上総利益	3,332	3,984
販売費及び一般管理費	3,086	2,991
営業利益	246	993
営業外収益		
受取配当金	2	2
受取賃貸料	10	10
為替差益	46	34
雑収入	12	18
営業外収益合計	71	65
営業外費用		
支払利息	27	27
支払保証料	13	13
自己株式取得費用	22	-
雑支出	6	10
営業外費用合計	71	51
経常利益	246	1,007
特別利益		
固定資産売却益	2	11
債務取崩益	-	155
受取和解金	-	120
特別利益合計	2	286
特別損失		
固定資産売却損	11	-
固定資産除却損	9	25
弁護士報酬	-	29
特別損失合計	20	55
税金等調整前四半期純利益	228	1,238
法人税等	137	377
四半期純利益	90	861
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	90	861

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	90	861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	37
為替換算調整勘定	25	△15
退職給付に係る調整額	47	33
その他の包括利益合計	66	55
四半期包括利益	157	916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157	916
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	228	1,238
減価償却費	999	996
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△184	17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△221	△226
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	27	27
有形固定資産売却損益 (△は益)	8	△11
有形固定資産除却損	9	25
受取和解金	-	△120
債務取崩益	-	△155
弁護士報酬	-	29
売上債権の増減額 (△は増加)	3,824	12,819
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	286	16
仕入債務の増減額 (△は減少)	8	△3,059
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	42	△462
預け金の増減額 (△は増加)	△10	-
その他	937	△100
小計	5,959	11,038
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△27	△26
法人税等の支払額	△459	△146
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,475	10,868
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,902	△2,137
有形固定資産の売却による収入	63	12
その他	△71	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,909	△2,082
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	95	97
長期借入金の返済による支出	△50	△50
自己株式の取得による支出	△799	△0
配当金の支払額	△1,120	△1,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,874	△1,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	748	7,756
現金及び現金同等物の期首残高	12,814	8,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,562	15,929

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

四半期個別受注の概況

個別受注の実績

	受 注 高	
2024年3月期第2四半期	46,514百万円	15.0%
2023年3月期第2四半期	40,454百万円	7.2%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、対前年同四半期比較増減率

受注実績の内訳

(単位：百万円)

区 分		前第2四半期 (2023年3月期 第2四半期)		当第2四半期 (2024年3月期 第2四半期)		増 減		前 期 (2023年3月期)	
		金額	構成 比率%	金額	構成 比率%	金額	増減率 %	金額	構成 比率%
受 注 高	建設部門								
	国内官公庁	11,940	29.5	15,230	32.7	3,289	27.6	26,473	30.0
	国内民間	20,828	51.5	23,151	49.8	2,323	11.2	43,771	49.7
	計	32,769	81.0	38,382	82.5	5,613	17.1	70,245	79.7
	製品部門等	7,685	19.0	8,132	17.5	447	5.8	17,869	20.3
	合 計	40,454	100.0	46,514	100.0	6,060	15.0	88,114	100.0